「家がいいね」第３０号

いせ在宅医療クリニック　広報月刊紙

2006.11.4

３０という数字を見て考えたことです。

３０年経ってようやく分かることがある？

石綿（アスベスト）を吸い込んで、胸膜のガンである中皮腫が発症するには３０年。昔から明らかなのに、発癌性物質を野放しにした工場・行政の責任が騒がれ、すぐまた消えかかっている。

これから３０年を無視する人たちがいる！

タバコの害もゆっくりと進行する。ガンに呼吸機能低下。「先進国」は喫煙者を減らして一息ついたというのに、日本ではタバコが巧妙に売られ続けて、そして肺がんが増え続ける。３０年後は？

遷宮の伝統は２０年だから保たれる！

大切な技と伝統を伝えるために１０年で準備が始まる。３０年では絶える危険があるだろう。

命の大切さを伝えるのは遅くとも１０歳から？

タバコも酒も早くから教えるのは大人たちだ。中学生・高校生では既にその先を走っている事もある。小学生から正直に向かい合う事が必要だ。

さて、大人が自らの責任だと認めなければ、後先含めての３０年は失われたも同然だ。どうして私の責任だと潔く認めないのだろう。昨今この国は頭から腐ってきたのだろうかと思うことが多い。

渋滞から分かって来たこと

私は好きではないが、世の中には、行列が出来るという事に価値を見出す人も居るらしく、わざわざ並びに行く事も厭わないそうだ。

道路の渋滞は誰も好まないが、これも人間の心理的要素が非常に大きいと、この本でよく分かった。沢山のモノを速く送ろうとすれば、コミュニケーションを含めた伝達の世界では、その障害も起き易い。実際には渋滞を抱え込みながら、生物のネットワークは機能しているらしい。「急がば、回れ」という故事は、この複雑系を示唆するようで、ふーん面白いと思う。

生と死を考える会の勉強会

１１月１２日（日）１４時～

「脳死を巡る生と死」

武村泰男（元三重大学学長）

津市・三重県総合文化センター

おしゃべり続き

なぜか依頼が重なってしまって、この１ヵ月はあれやこれや講師が多いのです。

１１月１６日（木）午後１時半～３時半

中央保健センター

「人生の実力を発揮するのは　いつですか？」

介護予防のための健康管理

１２月７日（木）１３時半～１６時

ハートプラザみその

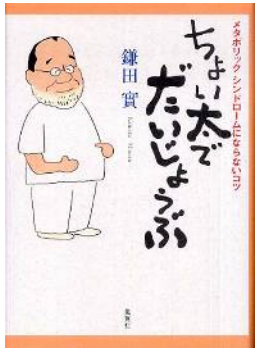
高脂血症予防教室

「高脂血症とその予防について」

いずれも申し込み制（２７・２４３５　健康課）

その事前勉強の本

数値にこだわってもらっては、不安は増すばかり。自分の人生の振り返りの中で、大事な方策が見えてくるだろうと思います。



保険医協会・会員向け

１１月３０日（木）１８時～

伊勢シティホテル

「在宅医療を気持ちよく実施するための工夫」

いせ在宅医療クリニック
ise home care clinic

自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御薗町高向 927

電話　0596-20-8104

ファクス　0596-20-8105

mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp

http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro